

お知らせ（1）

朝日カルチャーセンターでの講座のお知らせ

朝日カルチャーセンター新宿教室では若林啓史先生を講師として「朝カルオンライン」にて、公開講座「アフガニスタン政権崩壊 イスラーム急進主義の再来？」と、通期講座「1年でじっくり学ぶ中東近現代史」を、下記の要領で開催いたします。視聴をご希望の方は、下のhttpsにご連絡ください。

公開講座と通年講座の両方をご案内いたします。

講師：若林啓史先生

1、公開講座 〈アフガニスタン政権崩壊 イスラーム急進主義の再来？〉

<https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/ef5468a9-dc5e-ef8c-12c3-6125f40d514d>

公開講座：9月29日（水曜）13時～14時半、

教室でもオンラインでも受講できるハイブリッド講座です（講師は教室で講義）。

（詳細につきましては、同センターに直接お尋ね下さい。当日会場での聴講の他に、事前申込者限定・1週間の期間限定で講義の録画動画が視聴できる、アーカイブ配信サービスがあります。）

【講座の概要】

アフガニスタンでは、今年8月にターリバーン勢力が首都を制圧し、米軍に支援された政権は崩壊しました。アフガニスタンが、再びイスラーム急進主義の拠点として、国際テロの温床となるのか、注目されています。本講座では、①イスラーム急進思想の沿革と、②アメリカとの関係を軸としたアフガニスタンの歴史を概説し、③国内融和を掲げる新たなターリバーン政権の行方を推測します。また、④日本で拡散している「イスラーム悪玉論」の評価にも触れます。講師の新刊『中東近現代史』（知泉書館）を参考文献にします。

2、通期講座 〈1年でじっくり学ぶ中東近現代史〉

<https://www.asahiculture.jp/course/shinjuku/4b873d57-e727-6114-7df9-60f5648dd836>

通期講座：「1年でじっくり学ぶ中東近現代史」

朝日カルチャーセンター新宿教室・朝カルオンライン

10月28日開講(毎月一回、全15回完結)

以下、11月25日、12月23日を予定。それぞれ13時～14時半

【通期講座の概要】

中東問題は、理解が難しいと言われます。それは、現地の事件に、民族・宗教・政治思想など、歴史的に積み上がった複雑な背景があることが原因です。従って、現代の中東を理解するには、少なくとも19世紀以降の、アラブ諸国、イラン、トルコ、イスラエルを包摂する地域について、歴史を知る必要があります。本講座では概説書『中東近現代史』(知泉書館・2021年)を参考にしながら、順序よく中東に関する知見を深めます。

教室でもオンラインでも受講できるハイブリッド講座です(講師は教室で講義)。

当日会場での聴講の他に、事前申込者限定・1週間の期間限定で講義の録画動画が視聴できる、アーカイブ配信サービスがあります。)

お知らせ(2)

『みるとす』掲載：アラブ調査室長、塩尻和子による連載記事

『みるとす』(イスラエル・ユダヤ・中東がわかる隔月刊雑誌)8月号から「一つの神と三つの宗教」と題して、一神教の歴史・特色・相互関係などを取り上げ、イスラームとの平和的共存の可能性を考える機会にする予定です。第1回目は「一神教を学ぶために」と題して、日本の多神教思想と一神教との対比と融和を考えています。定価650円、定期購読もあり。なおミルトスとは、日本ではフトモモ科のギンバイカと呼ばれる木に咲く白い花のことで、ヘブライ語聖書(旧約聖書)のゼカリヤ書にも登場します。